



狂言

第三十四回

やるまい会

東京公演

平成30年12月9日(日)13時始

十四世喜多六平太記念能楽堂

小舞(田)植  
狂言(入)川  
狂言(清)水  
狂言(呂)蓮

同時開催  
創立50周年記念  
狂言也留舞会

小舞(名)取  
小舞(祐)川  
狂言(仁)師  
狂言(竹)生  
狂言(藤)島  
狂言(成)上  
狂言(蘇)説  
狂言(法)法

【日時】

2018年12月9日(第2日曜)

13:00開演(12:15開場)

【会場】

十四世喜多六平太記念能楽堂

東京都品川区上大崎四丁目6-9

Tel.03-3491-8813

(来場者用の駐車場はありませんので公共交通機関を御利用下さい)

【主催】

十四世 野村又三郎

【入場料(全席指定)】

〔雪(正面)〕 前売5,000円(当日6,000円)

〔月(脇正面・中正面)〕 前売4,000円(当日5,000円)

〔花(正面2階)〕 前売3,000円(当日4,000円)

～割引案内(当日受付にて証明書提示/野村事務所限定販売)～  
福祉制は同伴者1名迄、学割は大学院生(26歳以下)を対象で全席500円引

【入場券取扱】

●野村事務所●

(受付時間/月～全曜 10～18時)

<電話>090-8323-3210

<URL>http://kyogen.net/

●電子チケットぴあ●

(受付時間/毎日24時間)

Pコード:488-611

<電話>0570-02-9999

<URL>http://t.pia.jp/

(最終販売日:12月6日)

【制作】

株式会社 野村事務所

愛知県名古屋市中区平和一丁目20-4

Tel.090-8323-3210

<郵便振替>

00890-6-38618 野村事務所

～申込用紙～

(申込日) 月 日

【一般券】

〔雪〕 5,000円 ..... 枚

〔月〕 4,000円 ..... 枚

〔花〕 3,000円 ..... 枚

【学生・福祉割引券】

※当日受付にて学生証・福祉手帳等の提示が条件です

〔雪〕 4,500円 ..... 枚

〔月〕 3,500円 ..... 枚

〔花〕 2,500円 ..... 枚

合計枚数 ..... 枚

フリガナ

お名前 .....

ご住所 〒 ..... 市郡

..... 県

TEL ..... - -

FAX ..... - -

<※この用紙を切り取らず、このまま御送信下さい>

【FAX送信先】

052-350-7972

◆お申込み後に予約番号をお知らせします。予約確定後に郵便局にて御送金下さい。御入金確認に入場券を発送致します。

◆御入金後のキャンセルは受け付けておりませんので、御了承下さい。

yaru maikai

第三十四回 狂言 やるまい会 東京公演  
午後一時開演／三時終演予定(十二時十五分開場)

狂言小舟 田

植 (なうま)

舞 野村又三郎  
野村 信朗  
奥津健太郎  
伊藤 泰

狂言 八間川 (いるまがわ)

〈休憩二十分〉

狂言 清 水 (しみず)

太郎冠者 野村 信朗  
主 野村又三郎  
後見 伴野 俊彦

狂言 呂 蓮 (ろれん)

旅僧 奥津健太郎  
男 松田 高義  
妻 伊藤 泰  
後見 伴野 俊彦

【田植】

京都・賀茂神社の御田植神事を、神主と早乙女の掛合いで舞踊化した、能「賀茂」の替間狂言に用いる小舞。

【八間川】

土地の所有権争いの裁判で勝訴し、都から本国へ帰国する主従が、道中で関東平野の八間川に差し掛かります。

【清水】

主人は知人を招いての茶会のため、名水で名高い播磨国の野中へ水を汲みに行くよう太郎冠者に命じますが…

【呂蓮】

諸国行脚の僧は、とある里で夜の宿を借りた家の主人の出家の願いを聞き入れ、師弟の契りを結びますが…

【入場無料】

創立百周年記念 狂言 也留舞会 東京大会

やるまい会終演の三十分後開演／上演時間約八十五分

狂言 成上り (なりあがり)

太郎冠者 加美山 舞 (中学三年)  
主 奥津健一郎 (中学三年)  
素破 加美山 響 (中学一年)

狂言 魚説法 (うおせっぽう)

折発意 長谷川智士 (大学四年)  
檀家 野村 信朗 (高校三年)

狂言 竹生島参 (たけなしまいり)

太郎冠者 飯島 乾久 (初舞台再演)  
主 野村又三郎

狂言 仏 師 (ぶし)

素破 白石 敦子 (先代門弟)  
田舎者 吉本 有季 (大学四年)

番外狂言小舟 名取川 (なとりがわ)

舞 奥津健太郎 (会員OB)

番外狂言小舟 祐 善 (ゆうぜん)

舞 野村又三郎 (会員OB)

【成上り】 京都・北野天満宮の御手洗神事に、太刀持参で参詣した主従が境内で通夜をしていると素破が忍び寄りつて…

【魚説法】 自宅に堂を建てた檀家が、檀那寺の任職に堂開きの法要頼みに向かいますが、対応に出たのは見習僧でした。

【竹生島参】 太郎冠者の無断欠勤の叱責すべく、自ら太郎冠者宅に

出向いた主人は、竹生島参詣と聞いて機嫌を直します。

【仏師】 在所に建立した特仏堂に安置する仏像を求めに上京した

田舎の男に、洛中の素破が言葉巧みに近づいてきて…

【名取川／祐善】 同名の狂言の曲中で舞われる舞を、也留舞会出身でワロの能楽師狂言方として活動する二人が披露します。

御挨拶

私の祖父に当たります先々代野村又三郎信英(1865-1945)が、後進の育成の為に立ち上げたと思われ【也留舞会第一回研究会】を、大正七年六月二十六日に東京・麹町にありました(能楽俱樂部)で開催してから、戦中戦後の一時的な休会を挟みつも昭和・平成という二つの時代を送り、本年目出度く百周年を迎えました。

その後、師父の先代野村又三郎信廣(1921-2007)が昭和三十四年に名古屋、同五十六年に東京で「やるまい会」と改称して、玄人会としての狂言継賞会に発展させ、今日に至りました。

本年の公演では、これを記念しまして恒例の東京公演と併せまして、十一年振りに愛好家社中の発表会と同時開催させて頂く運びとなりました。こちらの発表会は、御来場歓迎・入場無料でどなた様でも自由に御覧頂けます。

なお、今回は両公演を通して、百年前の第一回公演で上演しました「田植」「清水」「祐善」「八間川」「名取川」「呂蓮」を再現して織り込んだ番組構成になっておりますので、鑑賞の興にして頂ければ幸いです。

会主／十四世・野村又三郎信行

注意事項

◇開演後の客席内外への入退場及び未成年児童の入場は、上演の妨げとなる場合があるため、原則御遠慮頂いております。

◇客席内での携帯電話・メール等の利用および飲食・喫煙は一切禁止となっておりますので御理解と御協力をお願いします。

◇公演中の撮影・録画・録音等は著作権・肖像権等の法律に触れるのみならず、他のお客様の御迷惑になる場合があるため、主催者により許可された者以外は一切禁止となっておりますので御理解と御協力をお願いします。

◇会場内における盗難等については、主催者および能楽堂は責任負いかねますので、各自での管理をお願いします。

◇その他、公演の妨げや他のお客様の御迷惑になる行為をされると主催者側で判断した場合、御退場頂く事がございますので、予め御諒承下さい。